

AR 技術の活用により 日本三大桜の1つ 福島の「三春滝桜」の前で写真が撮れる 記念撮影スポットを組み込んだ春の空間装飾サービスを開始

写真投稿 1 回につき 10 円が「三春滝桜」保存のために寄付される仕組みも用意

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、AR(拡張現実)技術を使って、日本三大桜の1つである福島の「三春滝桜」と写真が撮れる記念撮影スポットを組み込んだ、春の空間装飾サービスの提供を、3月8日(金)から開始します。本物の桜のディスプレイなどの空間装飾と組み合わせることで、よりエンターテインメント性の高い空間装飾として、ショッピングモールや観光施設、空港やターミナルステーション、ホテルなどに向けて、本サービスを提供していきます。また、撮影した写真を当社が指定する特設サイトに、三春滝桜や福島県への復興応援メッセージとともに投稿いただくと、投稿1回につき10円を、三春滝桜保存のために、三春町役場に寄付する仕組みを用意しています。

三春滝桜は、福島県田村郡三春町大字滝字桜久保にある日本三大桜の1つで、樹齢1000年以上と言われており、大正11年10月12日に国の天然記念物に指定されました。東日本大震災ではほとんど被害もなくその姿を保った三春滝桜は、福島の地域の人々を勇気づけています。

当社は、カメラで映した映像にCGやテキストなどのデジタル情報を合成して表示するAR技術と、装花等による空間装飾を融合した、装飾サービスの提供を2012年秋から展開しています。記念撮影されることも多い桜をはじめとする春の空間装飾向けに、福島復興への応援の想いを込めた本装飾サービスを企画いたしました。

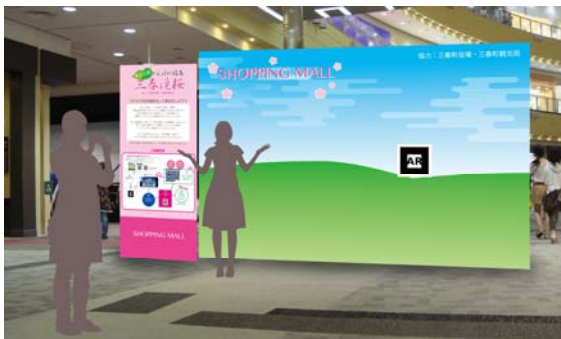
利用者が、当社オリジナルのスマートフォンアプリ「ポップアップカメラ」(ARシステム)*をダウンロードし、アプリを起動後、スマートフォンのカメラをARマーカを設置した空間装飾に向けてかざすと、マーカを認識し、三春滝桜のARコンテンツを表示・演出します。空間装飾の中に表れる、桜のコンテンツと一緒に、記念撮影することが可能で、カメラをかざす角度を変えることで、夜桜となり、表示されます。

当社は、お客様の要望に合わせ、ARコンテンツを組み込んだ空間装飾の企画・デザインから、ARコンテンツの制作、AR技術に対応したチラシやパンフレットの制作、イベント施工までをトータルでサポートしています。洗練された高級感あふれるデザインから、ファミリー向け施設でのポップでキュートなデザインまで、全国のショッピングモールやオフィスビル、ショールーム、さらには客船など、あらゆる空間を、それぞれのコンセプトに合わせ、日比谷花壇ならではの、生花やグリーン、アートフラワーをはじめとするこだわりの素材で装飾しています。

今後も、新たな技術や企画を組み込みながら、お客様のニーズに合わせた空間装飾サービスを提供していきます。

*本アプリは、iOS、Android OSの双方に対応しています。

*画像はAR技術による三春滝桜の記念写真のイメージです。ARマーカ設置した空間装飾(左画像)にスマートフォンのカメラをかざすと三春滝桜が表われます(右画像)。



株式会社日比谷花壇について

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。ウェディングフラワーコーディネーター、フラワーギフトの企画・制作・販売のほか、法人企業向けフラワーディスプレイ、装花を伴うイベントのプロデュース・セールスプロモーション、株主優待ギフト・福利厚生インセンティブの企画、スペースデザイン、屋内緑化の企画・設計・施工等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後もさまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。